

2003年 倫理 1学期中間考査 解答と解説

問題	正解	正答率	解説	問題	正解	正答率	解説
1	4	59	philosophia = 知恵を愛すること	26	3	41	社会契約 水平的公平 調整的正義 配分的正義
2	4	91	魂 徳 臆見 万物の根源	27	4	72	実体 質料 幸福 形相
3	1	62	テオリア(観想) ソフィストの相 対主義 実践的 理論的 近代 科学における経験論の立場	28	1	74	現実態 可能態 ? アイデア界
4	1	62	ヘシオドスの『神統記』	29	4	48	あわれみとおそれを通して,その感情を 浄化することが悲劇の目的であるならば, 「あわれみとおそれ」の感情に強く訴える ものが優れた悲劇であるといえる。
5	3	92	アナクシメネス「空気」 エンペドク レス「水・空気・土・火」 タレス「水」	30	2	28	はインターナショナルイズム = 国家の枠 を超えて共通の利害や関心にもとづく行 動をとる精神。国家の枠が前提となってい る点でコスモポリタニズムと異なる。
6	5	59	「形相と質料」 「ト・アペイロン」 叙事詩人	31	3	75	貴族政治 善美 不動心
7	2	80	ピュタゴラス派 プラトンに影響を 与えた言葉	32	5	74	民主政治 平静心 中庸
8	1	44	パルメニデス エンペドクレス デ モクリトス 近代経験論哲学	33	1	50	世界が必然的に生起することを運命とし て理性的に受け入れることがストア倫理
9	1	33	エレアのゼノン「アキレウスのパラドク クス」等で運動の存在否定,デモクリト ス「アトマ(原子)」は不変不動の多数 の存在,ヒポクラテス:古代ギリシア医 学の大成者	34	2	53	ローマのストア派の政治家弁論家 奴 隷出身ローマ期のギリシア人哲学者 新 プラトン主義哲学者 ストア派哲人皇帝
10	2	86	ソクラテス プロタゴラスの人間尺 度説 ヘラクレイトス エピクロス	35	1	52	「隠れて生きよ」アタラクシアの実践 神との合一は新プラトン主義等神秘主 義の主張 中庸 = アリストテレス 原始 的生活ではなく健康で質素な共同生活を 理想とする
11	4	51	絶対的な「暑さ/寒さそのもの」の存在 を否定し,相対的な個人の感覚のみ肯定	36	4	80	アブラハム:イスラエル民族の始祖
12	3	87	ソクラテスは著作を残さず,『ソクラ テスの弁明』はプラトンの著作	37	8	53	ヤコブ:イサクの子,兄エサウから食べ物 と引き替えに家督権をえた
13	3	82	ソクラテスのディアレクティケを のように呼んだ	38	2	94	モーセ:イスラエルの民の出エジプトを指 導した預言者
14	1	54	問答を通して共に考えながら,人々が知 っていると思いついでいることに対す る「無知を自覚」させること	39	6	82	ダビデ:ソロモンの父,古代イスラエルの 王国の王。イエスの父はダビデの子孫で あるといわれる。
15	2	87	知徳合一	40	3	30	嘆きの壁はソロモンの神殿のあった場 所にバビロン捕囚後に作られたもので,偶 像崇拜を禁ずるユダヤ教徒はそれを崇拜 はしない 安息日は土曜日 過ぎ越しの 祭りは出エジプトを祝う祭り
16	2	92	ソクラテスの死の中の「魂への配慮」	41	3	57	イエスは律法を廃止するためでなく成 就するために来たと言った。
17	3	46	アイデアが現象界にあり,感覚によって 知ることができるという点で間違い 仏教の空の思想の説明 アイデアは理 性によってのみ認識できる ストア哲 学のロゴスの説明	42	4	50	今助けを必要としている人の隣人になる べきことを,イエスは「善きサマリア人 のたとえ」として語った(ルカ 10: 2~)
18	1	86	フロイトは生の本能をエロスと呼び, 死の本能をタナトスと呼んだ	43	2	54	「放蕩息子のたとえ」(資 p.68) またイエ スは神を「父(アッパ)」と呼んでいた
19	3	36	かつてアイデア界に住んでいた人間の 魂がアイデアの記憶を思い出す(アナムネ ーシス)ことによって真理を認識する マルクス『資本論』の貨幣論	44	1	86	十字架にかけられたときのイエスの言葉 「父よ。彼らをお赦しください。彼らは何 をしているのか自分ではわからないです」 (ルカ 23:34)
20	2	38	プラトンは魂を二頭立ての馬車にたと えて理性が気概と欲望をコントロール できている状態を理想とした(資 p.51)	45	2	76	「右のほおを打たれたら左のほおを差し 出さない」 「豚に真珠を与えるな」(マ タイ 7:6) 人と安息日が逆
21	3	73	理性 = 魂の部分, 知恵 = 理性の徳	46	6	42	聖霊降臨(ペンテコステ)
22	3	97	ソロンの政治 カルバンの政治	47	3	87	教父 使徒 預言者 スコラ哲学者
23	3	83	最高善 = 幸福, 観想的生活の強調	48	2	84	マルコ 14:66 マタイ 16:19 マルコ 1:16
24	1	85	習性的徳は倫理的徳とも言う	49	2	51	
25	3	20	仏教の「中道」の説明 儒学思想の「中 庸」の説明 アリストテレスは倫理など の実践学には,理論学のような学問的な 厳密性がないと考えた	50	3	86	ラテン語 ギリシア語

倫理 1 学期中間考查 (3 年 1,3,4,5,6,7,8,9 組対象)

平均 65 点

点 数			頻度
95	~	100	0
90	~	94	1
85	~	89	11
80	~	84	12
75	~	79	57
70	~	74	34
65	~	69	58
60	~	64	42
55	~	59	45
50	~	54	18
45	~	49	28
40	~	44	8
35	~	39	5
30	~	34	2
0	~	29	0

- 問14 ソクラテス自身が思い悩みながら対話する「対話篇」の例示が必要か？
- 問15 隣人愛の説明で「よきサマリア人」のたとえが必要か？